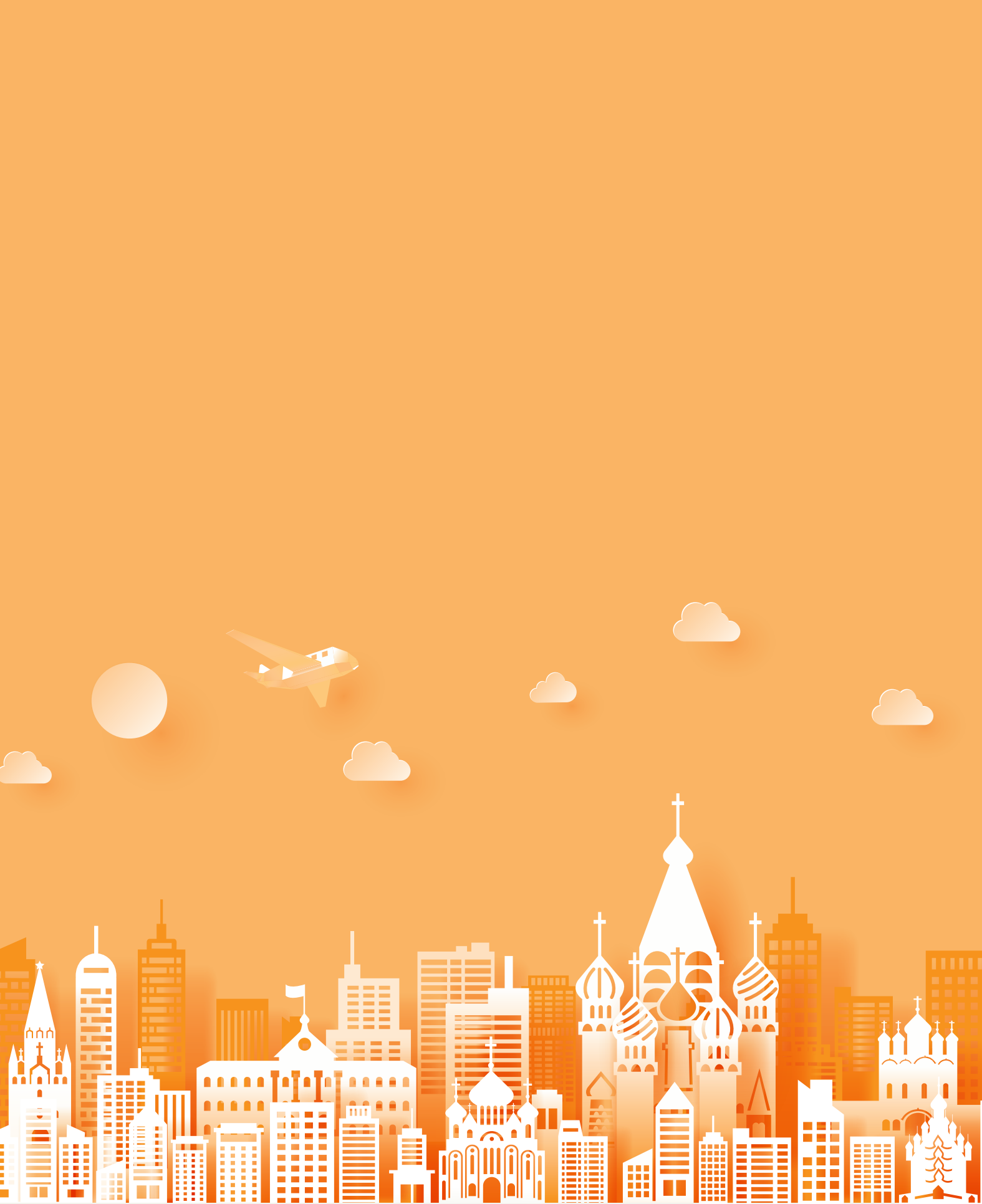




■留学に関するご相談は
情報理工学部事務室
TEL : 072-665-2076 E-mail : itprj2@st.ritsumei.ac.jp
受付時間 平日9:00~17:00 (11:30~12:30を除く)



TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN



世界を見れば人生が変わる

2025

海外IT研修 海外インターンシップ プログラム案内

海外大学・企業での研修でレベルアップ

この体験が未来につながる

立命館大学 情報理工学部・大学院情報理工学研究科

夏期休暇・春期休暇期間中に実施

休学や留年の
心配なし

IT留学プログラムの特徴

IT留学プログラムの3つの特徴

単位授与

専門科目として
2～4単位を授与、
成績証明書にも記録

豊富な奨学金

大学、学部から
給付型奨学金を得る
ことができます

大学での 学びに直結

情報理工学部生・
情報理工学研究科生
のためだけの
独自プログラム

安心して参加いただくために

- 情報理工学部/研究科が提携している海外大学・企業で研修実施
- 24時間の日本語サポート「アイラック安心サポート」と契約※1
- 参加者全員が「海外旅行保険」に加入※2
- 渡航前に立命館保健センターの「トラベルクリニック」で医師と相談できる※3

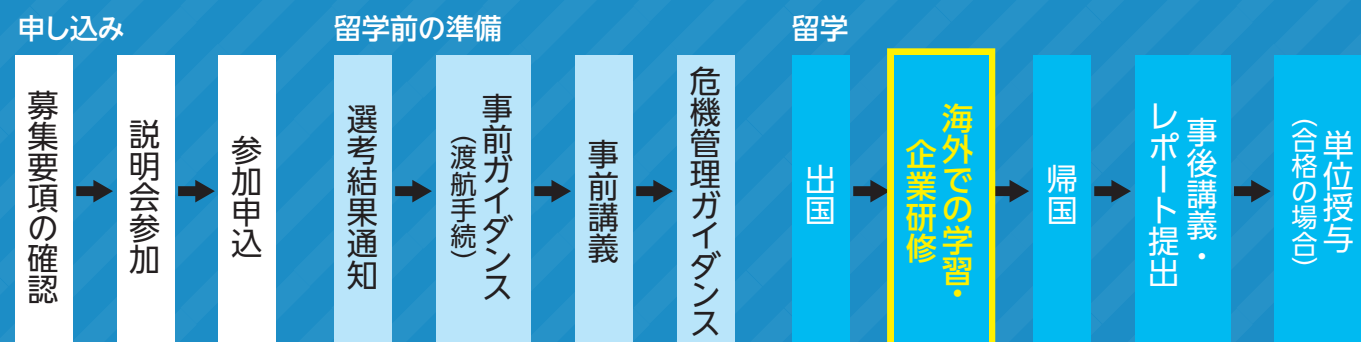
※1 日本アイラック(株)が提供する海外での安全管理を支援する海外緊急重大事故支援サービス

※2 学校法人立命館留学プログラム用包括契約海外旅行保険

※3 健康相談だけでなく、感染症などのワクチン接種もできます(有料)



申し込みから単位授与までの流れ



外務省「感染症危険情報」などを参考に、プログラムの募集を見送る場合があります。
詳細については、manaba+Rなどでお知らせします。

申込期間

詳細はmanaba+Rに掲載するほか、詳細を記載した「募集要項」を配布します。また申込期間中には説明会も開催されます。

夏期派遣プログラム：4～5月頃 春期派遣プログラム：10月頃



ベトナム

夏期 IT企業での研修 P.14
対象…3～4回生 博士前期(M)
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★



中国

夏期 日系企業での研修(日本語) P.16
対象…3～4回生 博士前期(M)
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★



アメリカ

夏期 カリフォルニア大学デービス校 P.9
対象…1～4回生
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★

夏期 一般企業での研修 P.17
対象…3～4回生 博士前期(M)
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★



インド

夏期 シンビオシス国際大学 P.10
対象…3～4回生 博士前期(M)
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★

夏期 IT企業での研修 P.15
対象…3～4回生 博士前期(M)
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★

IT留学できる国

—— 海外IT研修

…… 海外インターンシップ

★ スキルレベル



オーストラリア

夏期 クイーンズランド工科大学 P.11
対象…1～3回生
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★



ニュージーランド

春期 カンタベリー大学 P.12
対象…1～3回生
英語学習 IT専門 文化体験
★★★★ ★★★★★

応募条件 詳しくは、「募集要項」をご確認ください! (4月中旬・10月上旬に配布予定)

語学スコア (以下のいずれかを取得している学生を優先的に採用します)

TOEIC®L&Rテスト(400点以上)、TOEFL® ITPテスト(435点以上)、TOEFL® iBTテスト(41点以上)、
TOEIC Bridge®テスト(141点以上)、IELTS(5.0(Academic Module)以上)

事前講義・ガイダンス及び事後講義への出席、課題提出ができること

欠席の場合、派遣決定の取消または不合格(F評価)になることがあります

※成績(累積GPA)・語学スコアなどで選考をする場合があります

<外国人留学生のプログラム参加について>

昨今の国際情勢により、特に中国国籍者はアメリカ・インドなどへの入国ビザの取得が難しくなっています。

参加希望の場合は、事前に情報理工学部事務室まで相談してください。

海外IT研修と 海外インターンシップの違い



海外IT研修

海外協定校に滞在しながら、英語やITの専門知識について学びます。

立命館大学の海外協定校に滞在しながら、英語およびITの専門知識について学びます。授業が終わった後は各大学が提供するアクティビティに参加したり、大学の施設を使って自習をしたりします。宿泊先は、ホームステイ・大学寮・ホテルとさまざまです。

こんな方におすすめ

- 英語力を高めることができる
- 海外の大学で学べる
- 異文化体験ができる
- 1～4回生

ポイント

- 帰国後、英語のモチベーションが上がる方が多いです
- 人数が多いので安心
- 現地では他大学の学生と一緒に学ぶこともあります

海外インターンシップ

海外の企業や日系企業の海外支社で働く経験ができます。

実際に海外の企業や日系企業の海外支社にて、1ヵ月程度働く経験ができます。語学の授業が設定されている場合もあります。大学で学んだITの専門知識を実際に活かしながら、外国の方と一緒に働く体験ができ、国際性と社会人基礎力が同時に身につきます。

こんな方におすすめ

- 外国の会社で、外国の人と一緒に働ける
- 自分の力(IT/英語)を試せる
- 就職活動の際、経験を大いにアピールできる
- 3回生以上、大学院生

ポイント

- 就職活動では企業の方に非常に興味を持ってもらえます
- 数日間の体験ではなく、IT企業で本格的な実務経験ができます
- 中国での研修は日系企業のため、日本語で参加できます

英語圏よりもアジアが熱い！ ベトナム・インド・中国がいいの？

「ベトナム」「インド」「中国」で実施するものが多数含まれています。

この3つの国は世界の中でも特にIT大国で、日本の数多くの企業と取引があります。



この機会にベトナム・インド・中国に挑戦しよう

Point 1 いま行く必要があるの？

情報理工学部を卒業し、大手のIT企業、製造業、サービス業に就職したとしましょう。もはや日本国内で研究・開発が完結している企業がどれほどあるでしょう。実は普段使っているデジタルデバイス、ITサービス、WEBシステムなどの多くがこれらの国で作られています。就職してから戸惑うのではなく、いまが体験する絶好のチャンスです。

Point 2 就職活動ではやはり違うの？

英語圏への短期留学は多くの方が参加しており、高校で行かれた方も多数います。帰国後どれほどTOEICスコアが伸びたかが評価されます。一方、ベトナム・インド・中国でITを学んだとなると、行くことにハードルがあり、「行ったこと自体を評価」してもらえないことがあります。過去に行った先輩いわく、面接時に相当興味を持ってもらえたそうです。

Point 3 英語力は身につくの？

英語は世界中で使われている言語ですが、半分以上が非ネイティブの方が使っています。非英語圏の国では英語が使われていない訳ではありません。特にインターンシップでは、「習うより慣れる」で、企業での研修業務を通じて語学力を高めることができます。意外と非英語圏ではスラングや難しい語彙が少なく、理解しやすいこともあります。

Point 4 安全性は大丈夫なの？

実際に滞在するのは、ベトナム・インド・中国の中でも特に安全な都市であり、大学などの学術研究機関が多くやIT産業が盛んな地域です。貧富の差を目にすることもありますが、滞在するのはきちんと安全が確保された場所です。さすがに海外では日本と同じ感覚ではいけませんが、それは英語圏もこれらの国もあまり差はありません。

Point 5 それでもちょっと不安が残ります

食べ物・水・通信事情など各国の事情について事前講義やガイダンスを通じて十分に情報をお伝えするほか、前年の参加者から話を聞く機会もあります。また、現地滞在中、緊急時には日本語でサポートを受けられる体制も整えています。

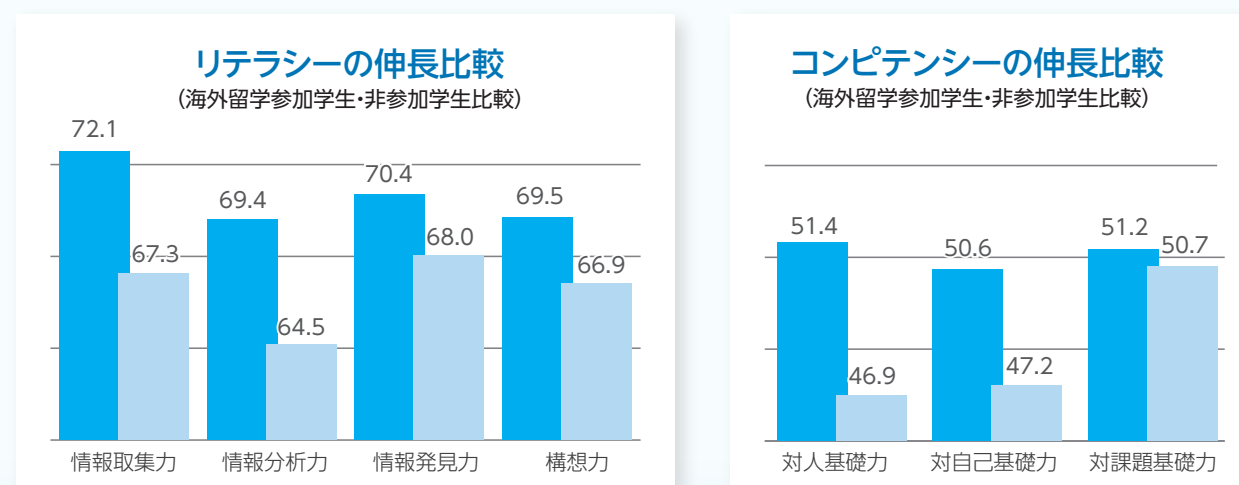
今海外に挑戦すべき理由

海外留学で伸びる力があります

情報理工学部では1回生と3回生の時に、リテラシー・コンピテンシーを測る基礎力診断テストを実施したことがあります。この診断結果のうち、**海外留学プログラムに参加した学生と、参加しなかった学生のリテラシー・コンピテンシーの伸長を比較したところ、いずれの能力においても海外留学参加学生が高い伸びを示していました。**

(基礎力診断テストPROG®による経年比較)

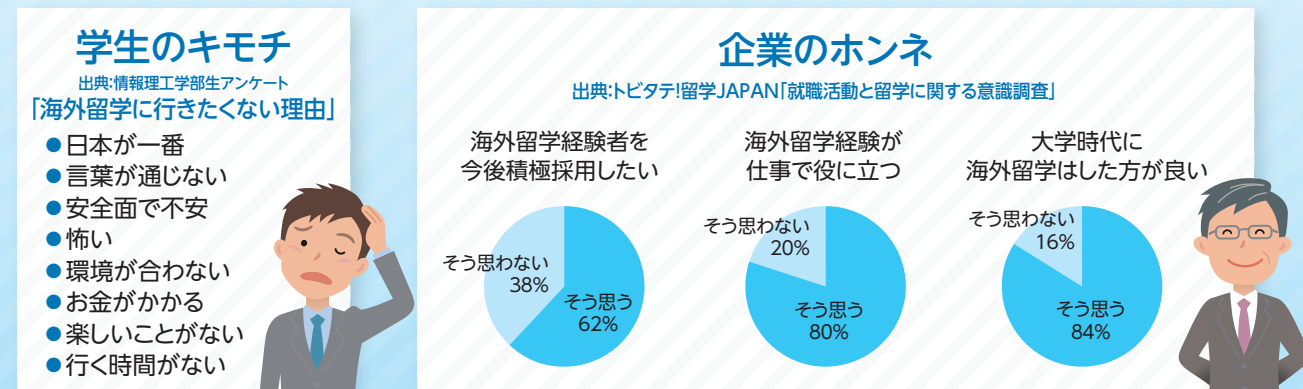
■ 参加学生 ■ 非参加学生



「学生のキモチ」と「企業のホンネ」には 本当はギャップがあります

企業は何事にも積極的にチャレンジし、その中で困難を乗り越えることのできる人材を求めています。企業が求める力は、チャレンジする環境の中で身につけることができます。

将来の進路・就職を見据えると、求められる力を学生時代に身につけることが大切です。



情報理工学部・研究科では様々な奨学金で学生をサポート

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金、先端ICT人材育成海外渡航補助金など、様々な奨学金で学生の海外留学をサポートしています！

プログラム参加費

参加費に含まれるもの

実習費(授業料など)、航空運賃、宿泊費、現地空港送迎、危機管理費など
(プログラムによっては、朝食や夕食が含まれる場合があります)

参加費に含まれないもの

海外旅行傷害保険料(本学指定の保険に全員加入)、有料アクティビティ、現地での一部食費、現地での個人的費用(昼食代など)、交通費(宿泊先から公共交通機関で通学する場合)、関西空港/伊丹空港までの交通費、超過手荷物料金、パスポート取得費用など

キャンセル料

選考後に参加を取りやめ、キャンセル料が発生する場合、参加申込者に請求します。
キャンセル料には、現地プログラム費用、往復航空券(国内・現地空港税、燃油サーチャージ、航空保険料等を含む)費用などが含まれます。

費用の低減に努めています

- 各プログラムの必要経費のみで参加費が構成されており、本学では利益や手数料を一切いたしません(プログラム開発・維持に必要な教職員の出張費もみなさんの参加費からは支出していません)。
- 質を落とすことなく、少しでも経済的な金額になるよう派遣先大学や提携業者とは毎年、内容・料金の交渉を行っています。
- 複数の旅行会社から見積もりを取得し、最廉価の業者に航空券の手配を依頼しています。さらに団体割引航空券の利用など、コストを抑える工夫をしています。

給付型奨学金

大学・学部による
2段階の充実した給付型奨学金

①「立命館大学海外留学チャレンジ奨学金」(学部生対象)

原則として、希望者全員に大学より支給します。プログラム参加費用の一部を支援することにより、プログラムへの参加・修了を奨励することを目的としています。奨学金はプログラム参加費から差し引く形で支給します。
この奨学金は最終的なプログラム参加費(本学から請求する金額)によって支給金額が変動します。

対象プログラム	プログラム参加費	支給額
全プログラム	50万円以上	10万円
	40万円以上	8万円
	30万円以上	6万円
	20万円以上	5万円
	10万円以上	3万円



②「グローバルリーダー育成奨学金」(大学院生対象)

大学院博士前期課程(M)の学生は、「立命館大学大学院情報理工学研究科グローバルリーダー育成奨学金」を申請できます。奨学金はプログラム参加費から差し引く形で支給します。
なお学部生同様に、この奨学金は最終的なプログラム参加費(本学から請求する金額)によって支給金額が変動します。

対象プログラム	プログラム参加費	支給額
大学院生が参加可能な以下のプログラム。 ※プログラム参加費によって支給額は変動。 [海外IT研修]シンビオシス国際大学(インド) [海外インターンシップ] ベトナム [海外インターンシップ] インド [海外インターンシップ] 中国 [海外インターンシップ] アメリカ	50万円以上	10万円
	40万円以上	8万円
	30万円以上	6万円
	20万円以上	5万円
	10万円以上	3万円
	5万円以上	1万円

③「先端ICT人材育成海外渡航補助」

指定の条件を満たした者に、学部より支給します。プログラム参加者が自己研鑽に努める機会を与える事を目的としています。
※「指定の条件」は、募集説明会やmanaba+R等での案内をご確認ください。

※①「海外留学チャレンジ奨学金」、②「グローバルリーダー育成奨学金」との併給可能

支給対象者	対象プログラム	地域区分	支給額
指定の条件を満たした者	カリフォルニア大学デービス校(アメリカ) [海外インターンシップ] アメリカ	指定都市・甲	8万円
	クィーンズランド工科大学(オーストラリア) カンタベリー大学(ニュージーランド) [海外インターンシップ] ベトナム	乙	6万円
	シンビオシス国際大学(インド) [海外インターンシップ] インド [海外インターンシップ] 中国	丙	4万円

各奨学金の併給について

- 【学部生】合計2種類の併給が可能
①海外留学チャレンジ奨学金 + ③先端ICT人材育成海外渡航補助
- 【大学院生】合計2種類の併給が可能
②グローバルリーダー育成奨学金 + ③先端ICT人材育成海外渡航補助

カリフォルニアの 有名州立大学で理系英語を学ぶ



アメリカ

カリフォルニア大学デービス校
UCD:University of California, Davis

留学期間：4週間

対象：1～4回生

特徴

一般的な英語力（英語基本 4 技能、読み、書き、聞き、話す能力）の向上に加え、国際的な科学者、技術の専門家に必要な批判的思考力や科学技術に関するプレゼンテーション技能、科学技術に関する理系英語の習得を目指します。ホームステイなので英語でのコミュニケーション力を高める機会も十分にあります。週末には、オプションツアーとしてサンフランシスコなど近隣都市の観光も予定されています。

スケジュール例

出国 伊丹/関空から乗継を経てアメリカ・サンフランシスコへ

【滞在中】

- Listening and Pronunciation(外国語科目)
- Intercultural Research Project(グループワーク)
- Hot Topics in Science and Technology(科学技術講義)
- Site-Visits(見学&観光)

【宿舎】ホームステイ

(帰国便の出発が早朝の場合、空港近辺のホテルに前泊予定)

帰国 アメリカ・サンフランシスコから乗継を経て伊丹/関空へ

低回生のうちに理系英語に慣れる

ホームステイで英語力をさらに伸ばす

人気のカリフォルニア

現地では各国の留学生とも交流可能

費用の目安と奨学金

おおむね 90 ～ 100 万円（人数・為替レート・航空運賃などにより変動します）
奨学金充当後の実負担額は 72 ～ 82 万円程度。
※参加費の目安は「募集要項（4月頃配布）」も参照してください。

【奨学金】詳細は p.6-7 参照

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	10万円
先端 ICT 人材育成海外渡航補助	8 万円

単位

科目名（分野）…「海外 IT 専門研修プログラム A（UCD）」（専門科目）

単位数……………2 単位

評 価……………本学の基準に基づいて5段階評価

【備考】

- 単位授与の確定は 2026 年 3 月頃になります。
- 受講登録制限外科目
- 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。
- 期間の重なる夏期集中講義の受講や追試験の受験はできません。

世界有数のIT先進国で ハイレベルのIT教育を体験、 異文化適応能力を身につける



インド

シンビオシス国際大学
SCIT:Symbiosis Center for Information Technology
SICSR:Symbiosis Institute of Computer Studies & Research

留学期間：3.5週間

対象：3～4回生・院生(M)

さらに発展が見込まれるIT先進国を体験

大学寮に滞在

日本とは全く違う文化、風習

このチャレンジ自体が、将来自分のPR材料に

特徴

世界規模で進展する IT 産業界を体感できる IT 先進国インドにおいて、専門的かつ実践的な IT の知識・技術をシンビオシス国際大学の教員から学びます。このような環境で機械学習とはじめとする AI 技術に関する知識や技術を体系的に学習することを通じて、専門知識を深めるとともに、実際に活用する技術を身につけます。
また、IT 企業を実際に訪問することで、世界のソフトウェア開発現場の最前線ならではの勢いを肌で感じ取ることができます。

スケジュール例

出国 伊丹/関空から乗継を経てインド・プネーへ

【滞在中】

- IT技術授業、特に機械学習とはじめとするAI技術
- ビジネス英語、科学技術英語
- IT企業訪問
- 世界遺産アジャンタ・エローラ観光

【宿舎】大学寮

帰国 インド・プネーから乗継を経て伊丹/関空へ

- 「アイルラック」とは別に現地のサポート企業とも契約しています。
病気や怪我などの緊急時には現地で日本語による支援を受けることができる体制を取っています。

費用の目安と奨学金

おおむね 50 ～ 60 万円（人数・為替レート・航空運賃などにより変動します）
奨学金充当後の実負担額は学部生の場合で 36 ～ 46 万円程度と予想されます。
※参加費の目安は「募集要項（4月頃配布）」も参照してください。

【奨学金（学部生の場合）】詳細は p.6-7 参照

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	8 万円(見込)
先端 ICT 人材育成海外渡航補助	4 万円

単位

科目名（分野）…【学部】「海外 IT 専門研修プログラム B（SCIT）」（専門科目）

【大学院】「海外実習」

単位数……………4 単位

評 価……………本学の基準に基づいて5段階評価

【備考】

- 単位授与の確定は 2026 年 3 月頃になります。
- 受講登録制限外科目
- 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。
- 期間の重なる夏期集中講義の受講や追試験の受験はできません。

派遣国・地域の基本情報

正式名 アメリカ合衆国(United States of America, USA)
〈滞在地域〉カリフォルニア州デービス市 ※州都サクラメント市の西約25km

人口 約3億2700万人

気候 [8月の平均気温] 最高34℃ 最低13℃

時差 -16時間(サマータイム) 日本が正午の時に現地は前日20時

通貨 ドル (USD)

治安 人口約6.5万人の大学中心の小都市であり、多くの留学生も滞在し、極めて安全性が高いです。他の外国都市と同様、夜間の独り歩きを避けるなど、基本的な注意をすれば問題ありません。
衛生事情:先進国の都市であり医療や衛生面での問題ありません。一般的には水道水も飲料可能と言われていますが、夏期のためペットボトルの飲料水をお勧めします。

派遣先大学の情報



1905年に設立されたカリフォルニア大学デービス校(University of California, Davis、通称UCD)は、約33,000名の学生が学ぶ州立大学です。カリフォルニア大学システム10校のキャンパスの中では最大の22km²に及ぶ広大なキャンパスを有しています。

派遣国・地域の基本情報

正式名 インド(Republic of India)
〈滞在地域〉マハーラーシュトラ州プネー ※インド最大都市ムンバイの南170km

人口 14億2,900万人

気候 [8月の平均気温] 最高28℃ 最低22℃

時差 -3.5時間 日本が正午の時に現地は8時30分

通貨 インド・ルピー (INR)

治安 インドは貧富の差が大きいですが、プネー市は所得水準が高く、かつて避暑地として発展した経緯もあってインドで最も治安が良いと言われています。また日本語教育が盛んな都市でもあります。
現地コーディネーターの指示に従い注意を払う限り大きな問題はありません。
衛生事情:水道水は飲めません。また街中の屋台のような不衛生な店舗で売られているものは口にしないでください。ペットボトルの飲料水は商店で容易に手に入ります。

派遣先大学の情報



1971年に設立されたシンビオシス国際大学は、プネー市に本部を置き10以上のキャンパスを有している私立総合大学です。プネー市は、多くの教育・研究機関が所在しており、「インドのオックスフォード」とも呼ばれる学術都市です。PCの家庭普及率はインド国内1位で、生活水準と安全性が最も高い都市の一つです。

夏期休暇を利用して 集中的に英語を学ぶ



オーストラリア

クィーンズランド工科大学

QUT:Queensland University of Technology

留学期間：5週間

対象：1～3回生

特徴

オーストラリアでも有数の高いレベルを誇る大学の英語教育機関に身を置き、集中的に学ぶことで、英語による高度なコミュニケーション能力や異文化理解の向上を目指します。また現地で IT について学ぶ時間も用意されています。図書館などの大学施設も利用できます。ホームステイなので授業外でも英語を使ってコミュニケーションを取るようになります。

スケジュール例

出国 関空から乗継を経てオーストラリア・ブリスベンへ

【滞在中】

- 英語集中講義
- 豊富な課外アクティビティ
- ITデザイン・ワークショップ
- ロボティクスセンター訪問
- 週末旅行(ブリスベン近郊)

【宿舎】ホームステイ

(帰国便の出発が早朝の場合、空港近辺のホテルに前泊予定)

帰国 オーストラリア・ブリスベンから乗継を経て関空へ

現在の
英語力に最適な
レベル設定

長期休暇を
利用した集中的
英語学習

ホームステイ
を通じた
文化体験

豊富な授業外
アクティビティ

費用の目安と奨学金

おおよそ 65 ～ 70 万円 (人数・為替レート・航空運賃などにより変動します)
奨学金充当後の実負担額は 49 ～ 54 万円程度と予想されます。
※参加費の目安は「募集要項 (4月頃配布)」も参照してください。

【奨学金】 詳細は p.6-7 参照

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	10 万円
先端 ICT 人材育成海外渡航補助	6 万円

単位

科目名 (分野) …「海外 IT 英語研修プログラム A (QUT)」(専門科目)
単位数……………4 単位
評 価……………本学の基準に基づいて5段階評価

【備考】

- 単位授与の確定は 2026 年 3 月頃になります。
- 受講登録制限外科目
- 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。
- 期間の重なる夏期集中講義の受講や追試験の受験はできません。

派遣先大学の情報



1975年に創設されたクィーンズランド工科大学 (Queensland University of Technology, 通称QUT) はオーストラリアで最大の大学(公立大学)の1つで、90カ国以上からの約6,000人の留学生を含む40,000人の学生が学んでいます。

派遣国・地域の基本情報

正式名 オーストラリア連邦(Commonwealth of Australia)
(滞在地域)クィーンズランド州ブリスベン

人 口 2,400万人

気 候 [8月の平均気温] 最高22℃ 最低9℃

時 差 +1時間 日本が正午の時に現地は13時

通 貨 オーストラリア・ドル (AUD)

治 安 おだやかでフレンドリーな人が多い国です。他の外国都市と同様、夜間の独り歩きを避けるなど、基本的な注意をすれば問題はありません。衛生事情:先進国の都市であり医療や衛生面での問題はあります。一般的には水道水も飲料可能と言われていますが、ペットボトルの飲料水を飲むことをお勧めします。

春休みに温暖な ニュージーランドで英語力アップ



ニュージーランド

カンタベリー大学(CCEL)

UC:University of Canterbury(Christchurch College of English Ltd.)

留学期間：5週間

対象：1～3回生

特徴

現地では初心者から上級者まで6段階に分けられ、個人のレベルにあった授業を受けます。「海外は初めて。英語を学びながら異文化にも触れてみたい。」という方には特にオススメです。時差、環境など日本とのギャップが少ないので、海外経験の第一歩を踏み出したいと思っている方には最適といえます。また現地で IT について学ぶ時間(コーディングワークショップ等)や豊富なアクティビティも用意されています。(参加人数によっては、コーディングワークショップは実施がない場合もあります。)

スケジュール例

出国 関空から乗継を経てニュージーランド・クライストチャーチへ

【滞在中】

- 英語集中講義
- ITワークショップ
- 豊富な課外アクティビティ (スポーツ、会話、料理、カヌー、美術館など)
- 大学施設を使つての自学自習
- 週末を利用したオプショナルツアー

【宿舎】ホームステイ

(帰国便の出発が早朝の場合、空港近辺のホテルに前泊予定)

帰国 ニュージーランド・クライストチャーチから乗継を経て関空へ

●課外アクティビティは、無料のものから有料のものまでさまざまなタイプがあり、現地で選択できます。

現在の
英語力に最適な
レベル設定

春期休暇を
利用した集中的
英語学習

ホームステイ
を通じた文化体験

豊富な授業外
アクティビティ

費用の目安と奨学金

おおよそ 65 ～ 75 万円 (人数・為替レート・航空運賃などにより変動します)
奨学金充当後の実負担額は 49 ～ 59 万円程度と予想されます。
※参加費の目安は「募集要項 (10月上旬配布)」も参照してください。

【奨学金】 詳細は p.6-7 参照

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	10 万円
先端 ICT 人材育成海外渡航補助	6 万円

単位

科目名 (分野) …「海外 IT 英語研修プログラム B (UC)」(専門科目)
単位数……………2 単位
評 価……………本学の基準に基づいて5段階評価

【備考】

- 単位授与は 2026 年 4月頃になります (前年度秋学期の単位として授与)。
- これにより「3 回生への進級」や「卒業研究2・3」の受講可否を遡って変更することはありません。
- 受講登録制限外科目
- 成績評価は、現地大学の評価を参考に、本学の担当教員が行います。
- 期間の重なる追試験の受験はできません。



派遣先大学の情報



カンタベリー大学 (University of Canterbury:UC) はニュージーランドにある8つの国立大学のうち、2番目に古い歴史を持つ大学です。大学内にある語学学校 (CCEL) で学びます。留学生の受入れに積極的で、本プログラムの研修中も日本を含むたくさんの留学生が学んでいます。

派遣国・地域の基本情報

正式名 ニュージーランド(New Zealand)
(滞在地域)クライストチャーチ ※国内2番目、南島最大都市

人 口 490万人

気 候 [2月の平均気温] 最高22℃ 最低12℃

時 差 +4時間(サマータイム) 日本が正午の時に現地は16時

通 貨 ニュージーランド・ドル (NZD)

治 安 英語圏の国々の中でも特に安全な国ですが、置き引きなどの軽犯罪は時々あります。外国であることを忘れず行動すれば特に問題はありません。衛生事情:先進国の都市であり医療や衛生面での問題はあります。一般的には水道水も飲料可能と言われていますが、夏期のためペットボトルの飲料水を飲むことをお勧めします。

IT留学プログラムを知る

「海外IT研修」と「海外インターンシップ」があり、
海外の大学で学んだり、海外の企業で実際に働く体験ができます。
ここでは過去「海外IT研修」に参加した方にインタビューしました。



2024年度 海外IT研修(クイーンズランド工科大学)参加



情報理工学部
Y・M さん

Q1 海外研修に参加して自分自身の成長と繋がったところを教えてください。

英語を第1または第2言語として使用し、日本語を話せない人々との英語を使ったコミュニケーションの機会が豊富でした。日常生活の中で英語を使って会話を重ねることで、実践的な言語運用能力を磨いてきました。また、ホームステイを経験し、その間は英語のみで生活する環境に身を置くという体験を通じて、単なる言語スキルだけでなく、異文化理解や相手の意図を汲み取る能力も養うことができました。英語を母国語とするホストファミリーとの会話や共同生活を通じ、より自然な表現やニュアンスを学ぶ機会に恵まれました。このような経験が、私の英語力の向上やコミュニケーションスキルの発展に大きく寄与していると感じています。

Q2 当初海外研修プログラムに参加するきっかけは何でしょうか？

私が海外研修プログラムに参加したきっかけは、英語力の向上を強く望んでいたからです。これまで学校で学んだ英語は、主に文法や読解が中心で、実際に話す機会が限られていました。そのため、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションを通じて実践的な英語力を身につけたいと考えていました。また、単に語学力を高めるだけでなく、異なる文化や価値観に触れることで、多角的な視点や柔軟な思考力を養いたいという思いもありました。このプログラムでは、ホームステイや現地での活動を通じて、日常会話から深い内容まで幅広い英語表現に触れることができると期待しました。英語での会話を通じて自信を持ち、将来的には国際的な環境でも活躍できる力を培いたいという目標が、参加の原動力となりました。

Q3 海外研修プログラム参加で出会った「面白い」と思ったことがあれば教えてください。

私が最も興味深く感じたところは、日本とのコミュニケーションにおける価値観の違いです。日本では、知り合いといるときや社交場など、コミュニケーションをとるべきとされている状況は限定的で、公共の場では他人と必要以上の会話は行われないことが多いと思います。しかし、ブリスベン現地の方々はとても気さくな方が多く、バス停やショッピングモール、観光で行ったビーチや動物園など、日本ではほとんどあり得ないさまざまな場で現地の方が話しかけてきました。最初こそ緊張したもの、相手が純粋な好意で話しかけてくれているとわかると非常にフレンドリーに感じ、人の温かみに触れることができました。

Q4 海外渡航中でご自身が最も刺激を感じたことは何でしょうか？

私が驚いたのは、オーストラリアでは、現地の方が非常に規則正しい生活習慣を持っていることです。具体的には、みな午前6時ごろには起床していて、かなり充実した朝食をとり(私のホストファミリーはホットケーキorオムレツ、フルーツ、ヨーグルト、コーヒーor紅茶でした)、朝の街は散歩をしている人がたくさんいました。また、夕食は基本家族そろって6時ごろに食べ、9～10時ごろには就寝していました。日本では正直ルーズな生活習慣を送っていた私にとっては、大きな刺激になりました。また、その影響から帰国後もプログラム前と比べて安定した生活リズムを維持できています。

Q5 これからプログラム参加を考えている後輩たちへメッセージを書いてください!

私たちの所属する情報理工学部(および情報理工学研究科)からは、たくさんの先輩方が外資系企業や海外の市場で活躍している企業に就職しています。IT業界において、英語を使いこなせるというステータスは非常に価値のあるものです。また、私はこのプログラムを通して海外文化に触れ、いい刺激をもらいました。海外で1日中英語に触れて生活することは、英語力向上の最善手だと私は思っています。もしかしたら二度と経験できないかもしれない、楽しく素敵な、充実した夏休みを過ごしてみてください!

英語学習 ★★★ IT 専門 ★★★ 文化体験 ★★★

海外インターンシップ 夏期1

発展著しいベトナムで IT関連インターンシップ



ベトナム

発展著しい
ベトナムで
IT関連の研修

研修先に
近いサービス
アパート泊

首都なので
生活は便利

意外と
日本から
近い

【研修言語:英語または日本語】

留学期間:4週間

対象:3~4回生・院生(M)

特徴

成長著しい東南アジアの国々の中でもベトナムは特に IT 産業が盛んで、最近ではリスク分散から中国などから開発拠点を移す日系企業もあります。また多くの現地企業が日本や欧米企業と取引をしています。企業の配属先によっては日本語で研修することもあります。現地の生活では英語でコミュニケーションを取ることになりますが、英語圏の国ではありませんので、日常会話程度の語学力でも対応できます。

スケジュール例

出国 関空からベトナム・ハノイへ

【滞在中】

- 月～金までは各派遣先企業で研修
 - 週末は自由(派遣者同士で連絡を取合い、日帰り旅行も可)
 - 最終日にベトナム派遣者・企業関係者を交えての成果発表会
本学教職員が出席することもあります
- 【宿舎】研修先近くのサービスアパートメント泊

帰国 ベトナム・ハノイから関空へ

- 「アイラック」とは別に現地のサポート企業とも契約しています。
病気や怪我などの緊急時には現地による支援を受けることができる体制を取っています。
- 翌年3月末まで有効なパスポートが必要です。



派遣国・地域の基本情報

正式名	ベトナム社会主義共和国(Socialist Republic of Viet Nam) (滞在地域)ハノイ(首都)
人口	9,467万人
気候	[8月の平均気温] 最高32℃ 最低26℃
時差	ー2時間 日本が正午の時に現地は10時
通貨	ドン(VND)
治安	凶悪犯罪に巻き込まれることは少ないものの、スリや置き引きなどの軽犯罪は発生しています。事前研修にて説明のある地域や夜間の独り歩きを避け行動すれば大きな問題はありません。 衛生事情:水道水は飲めません。また街中の屋台のような不衛生な店舗で売られているものは口にしないでください。ペットボトルの飲料水は商店で容易に手に入ります。

派遣先企業の情報



候補先企業(予定)……5名

- RIKKEISOFT
現地の新進気鋭のソフトウェア開発企業で、創設者は本学情報理工学部の卒業生です。
派遣先企業とのマッチングが成立しない場合は参加することができません。

IT先進国インドで ソフトウェア関連インターンシップ



インド

【研修言語:英語】

留学期間：4週間

対象：3～4回生・院生(M)

特徴

IT 先進国の IT 産業の中心都市で最先端のソリューション開発の業務を体験できます。日本的な要素が限りなく少ない環境下でインターンに取り組めることは、キャリアのみならず人生においても大きな経験になります。現地スタッフがインターン中の相談事から休日の過ごし方に至るまできめ細かくサポートしてくれます。普通のインターンとは違った体験を求められる方には、うってつけのプログラムです。

スケジュール例

出国 伊丹/関空から乗継を経てベンガルールへ

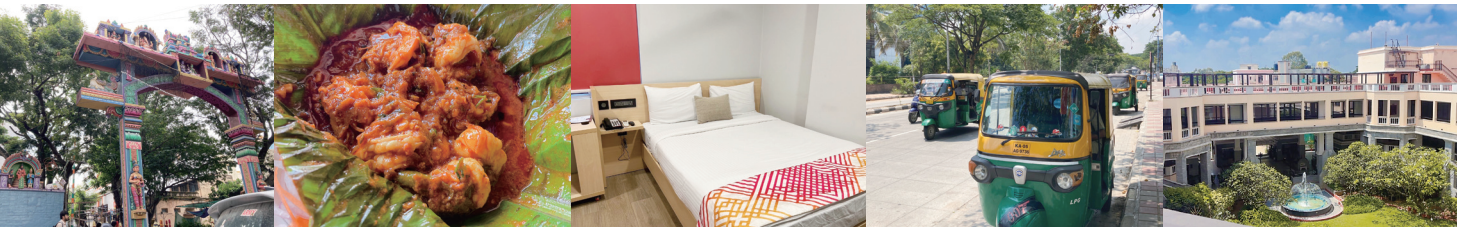
【滞在中】

- 月～金までは各派遣先企業で研修
- 週末は自由(現地パディが親身に提案してくれます)
- 最終日にインド派遣者・企業関係者を交えての成果発表会
本学教職員が出席することもあります

【宿舎】研修先近くのホテル泊

帰国 インド・ベンガルールから乗継を経て伊丹/関空へ

- 「アイルック」とは別に現地のサポート企業とも契約しています。病気や怪我などの緊急時には現地で日本語による支援を受けることができる体制を取っています。
- 翌年3月末まで有効なパスポートが必要です。



派遣国・地域の基本情報

正式名 インド(Republic of India)
〈滞在地域〉カルナーカタ州 ベンガルール
※南インドの最大都市(バンガロール)という呼び方で記載されている場合もあります。)

人口 14億2,900万人

気候 [8月の平均気温] 最高28℃ 最低20℃
※標高920mの高原都市で快適です

時差 -3.5時間 日本が正午の時に現地は午前8時30分

通貨 インドルピー (INR) ※QR決済が主流です。現地スタッフが支援します。

治安 世界各国からIT企業が集まるベンガルールはインドでも特に治安が良いことで有名です。現地スタッフの指示に基づいて行動するには全く問題ありません。衛生事情:水道水は飲みません。また街中の屋台のような不衛生な店舗で売られているものは口にしないでください。ペットボトルの飲料水は商店で容易に手に入ります。飲食について判断に迷う場合は、現地スタッフ等の指示に従ってください。

派遣先企業の情報



候補先企業(予定)……5名

- Sasken Technologies Limited

通信、自動車や半導体に大きな実績を持つソリューション提供企業。1990年代から日本の有名企業とも取引実績が多々あります。派遣先企業とのマッチングが成立しない場合は参加することができません。

中国・大連の 日系企業にてインターンシップ



中国

【研修言語：日本語(英語)】

留学期間：4週間

対象：3～4回生・院生(M)

特徴

中国・大連に進出している有名日系企業で、幅広い IT 分野の就業体験が日本語でできます。滞在は提携先の大学寮ですので、費用も安く済みコストパフォーマンスがとても高いプログラムです。各社で取り扱う先端技術に触れることができます(反面、厳密な守秘義務が発生します)。多少は英語を使うかもしれませんがありません。英語力に自信はないけれども、グローバル企業でのインターンシップを希望される方には最適です。

スケジュール例

出国 関空から中国・大連へ

【滞在中】

- 月～金までは各派遣先企業で研修
- 初級中国語講義
- 週末は自由
- 最終日に中国派遣者・企業関係者を交えての成果発表会
本学教職員が出席することもあります

【宿舎】東軟信息学院(大学)の学生寮泊

帰国 中国・大連から関空へ

- 翌年3月末まで有効なパスポートが必要です。
- 大連東軟信息学院(大学)の学生寮に滞在し、初級中国語講座を受講します。



派遣国・地域の基本情報

正式名 中華人民共和国(People's Republic of China)
〈滞在地域〉遼寧省大連市

人口 14億828万人

気候 [8月の平均気温] 最高28℃ 最低22℃

時差 -1時間 日本が正午の時に現地は11時

通貨 人民元 (CNY)

治安 中国の中でも安全な都市であり、日本企業も多くまた日本語学習者も多いです。スリ被害が多いため注意する必要があり、海外にいる意識を持っておく必要はあります。
衛生事情:大都市であり医療や衛生面での問題はありません。水道水は飲みません。ペットボトルの飲料水は容易にまた安価に購入することができます。

派遣先企業の情報



候補先企業(予定)……5名

- コニカミノルタ

複合機等のオフィス機器を主力事業としている日系企業。派遣先企業とのマッチングが成立しない場合は参加することができません。

自国のITスキルを米国のグローバル企業で試せるインターンシップ



アメリカ

【研修言語：英語】

留学期間：4週間

対象：3～4回生・院生(M)

特徴

アメリカ西海岸・カリフォルニア州ロサンゼルス近郊のグローバル企業で、自身の IT スキル・PC スキルを仕事で活かす事ができます。自分の技術が仕事の中でどう役に立つのか、どのように社会に貢献できるのか、お客様や社内で働く人が自分の手掛けたものを実際に見たり、使ったりすることで直に評価、反応を感じられるのが醍醐味です。学生時代にアメリカで働く経験しておくことは、今後の将来の仕事、働き方にも必ず役立ちます。

スケジュール例

出国 伊丹/関空から米国・ロサンゼルスへ

【滞在中】

- 月～金までは各派遣先企業で研修
- 週末は自由(ホストファミリーと過ごします)
- 【宿舎】ホームステイ

帰国 米国・ロサンゼルスから伊丹/関空へ

- 9月末まで有効なパスポートが必要です。
- 現地滞在中に他の日本人大学生と合同でのビジネス研修を実施(ホテル泊)。

ネイティブ
英語を体験

日本人にも
人気の
米国西海岸
に滞在

ホームステイ
で異文化体験

アメリカで
働いてみたい
人におすすめ

費用の目安と奨学金

おおむね 85 ～ 95 万円 (人数・為替レート・航空運賃などにより変動します)
奨学金充当後の実負担額は学部生の場合で 67 ～ 77 万円程度と予想されます。
※参加費の目安は「募集要項 (4月頃配布)」も参照してください。

【奨学金 (学部生の場合)】 詳細は p.6-7 参照

立命館大学海外留学チャレンジ奨学金	10 万円
先端 ICT 人材育成海外渡航補助	8 万円

単位

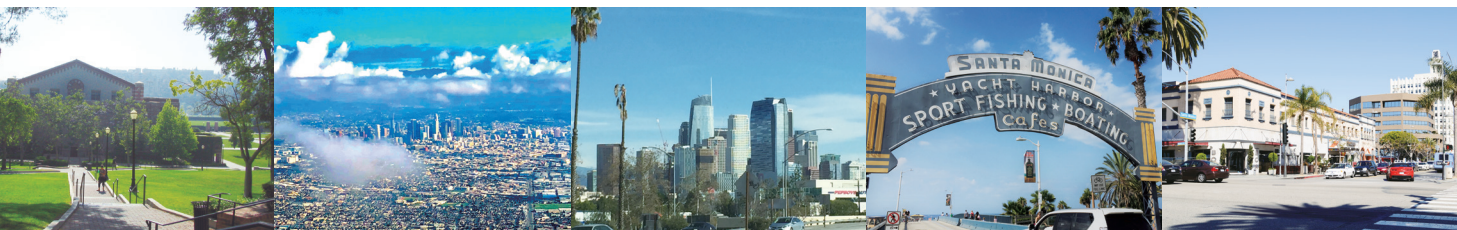
科目名 (分野) … 【学部】「グローバルインターンシップ」(専門科目)
【大学院】「海外実習」

単位数……………2 単位

評 価……………本学の基準に基づく P (合格) / F (不合格) の2段階評価

【備考】

- 単位授与の確定は 2026 年 3 月頃になります。
- 受講登録制限外科目
- 成績評価は、本学の担当教員が行います。
- 期間の重なる夏期集中講義の受講や追試験の受験はできません。



派遣国・地域の基本情報

正式名 アメリカ合衆国 (United States of America)
(滞在地域) 西海岸都市 (ロサンゼルスなど)

人 口 3億2775万人

気 候 [8月の平均気温] 最高30℃ 最低18℃

時 差 -16時間 (サマータイム) 日本が正午の時に現地は前日20時

通 貨 ドル (USD)

治 安 各都市で行ってはいけないエリアがはっきりしています。事前講義でもお伝えするほか、ホストファミリーからも情報収集をし、近づかないことが重要です。人気のないところは歩かないなど気をつける必要があります。
衛生事情: 先進国の都市であり医療や衛生面での問題ありません。水道水は飲めません。ペットボトルの飲料水が容易に手に入ります。

派遣先企業の情報



面接により本人のITに関する知識や英語力などを考慮の上、派遣先企業を決定します。派遣先はIT企業に限らず、一般企業 のIT (WEB) 業務となることもあります。英語ネイティブを相手に存分に英語力を試す こともできます。応募条件は満たすものの、仮に英語力が不十分と判断された場合は簡単な業務(単純作業)が割り当てられる可能性もあります。

体験した方に
インタビューしました!

Q&A

IT留学プログラムを知る

「海外IT研修」と「海外インターンシップ」があり、
海外の大学で学んだり、海外の企業で実際に働く体験ができます。
ここでは過去「海外インターンシップ」に参加した方にインタビューしました。



2024年度 海外インターンシップ(ベトナム・ハノイ)参加



情報理工学部
K・K さん

Q1 海外研修に参加して自分自身の成長と繋がったところを教えてください。

自分の考え方を見つめ直す機会になりました。初めはベトナム語が全く分からないことに加え、1ヶ月のインターンを自分がやり切れるのかという不安があり応募を迷っていました。しかし色々考えた上で参加したところ、慣れない場所で生活する適合力でなど思わぬところにも学びがあったと思います。色々な可能性を模索することが大切なのではないかと考える機会になりました。
また慣れない環境での生活に加えて、制作をやり遂げたことは忍耐力や達成感を味わう貴重な機会になったと思います。

Q2 当初海外研修プログラムに参加するきっかけは何でしたか?

もともと海外に行くことに興味があったのですが、大学の交換留学プログラムなどでは語学習得が主な目的となることが多く、自分の専攻を活かす機会が少なく感じていました。そこで情報工学の知識を必要とするものを探していたところ、この研修プログラムを見つけ参加しました。

Q3 海外研修プログラム参加で出会った「面白い」と思ったことがあれば教えてください。

ベトナムと日本の文化の違いが興味深かったです。特に現地の方々のおおらかさや柔軟性が垣間見える場面が多く、その国民性の違いを肌で感じることができました。

Q4 海外渡航中でご自身が最も刺激を感じたことは何でしたか?

現地の方々と深く関わる機会を得たことが刺激的でした。社員の方とじっくり話す経験を得たことは、インターンとして比較的長期間滞在できたこのプログラムならではの体験であり、大きな学びになったと思います。

Q5 これからプログラム参加を考えている後輩たちへメッセージを書いてください!

エンジニアを目指している方にはこのプログラムをぜひおすすめしたいです。このインターンシップは楽しいことだけではなく大変に感じることもあったのですが、その過程で得られる学びや成長はとても大きかったです。参加すればきっと良い体験になると思います。

留学の不安も事前にチェック!

IT留学よくある質問



Q1 留学は行った方が良いの?

A 就職先として人気の高い大手企業の多くはグローバルに事業を展開しています。また立命館大学は国際化に積極的に取り組んでおり「文部科学省のスーパーグローバル大学」に選ばれています。今後、グローバル化がさらに加速していく社会で自分の強みを活かすためには、卒業までに国際感覚をしっかりと身に付けておくことが特に重要です。

Q2 英語力に自信がありません。英語は身につきますか?

A 海外留学は「英語力」を身に付けるだけが目的ではありません。海外での滞在を通じて、異文化対応力・柔軟性・ストレス耐性が身につくのも留学の大きなメリットです。もちろん多くの方は語学力の必要性も感じ、現地での努力もあって帰国後はTOEIC L&R Test等のスコアを伸ばしています。

Q3 海外旅行とは違いますか?

A 旅行ではいろいろな場所を観光できますが、英語を使う場面は多くありません。また本格的な異文化体験、現地の人との交流もほぼありません。また期間に比例して費用が高額です。留学だとホームステイや現地での学習、研修などを通じて英語でたくさん交流ができ、費用面でも奨学金があります。もちろん週末を利用して観光もできます。

Q4 旅行会社の留学プログラムと何が違うの?

A 営利目的ではありませんので必要以上の費用はいただいていません。もちろん各種奨学金・渡航補助も用意しています。そのうえ正規科目ですので「単位」という形で成績証明書に記録が残ります。また情報分野に特化したプログラムであるため、今後の情報工学部/研究科での学修や研究に役立つ内容となっているはずです。

Q5 パスポートを持っていません。参加可能でしょうか?

A 例年、参加者の半分程度の方がこの留学のためにパスポートを取得されています。もちろん留学の内容やレベルもさまざまです。ご自身に合ったプログラムを選択できます。情報理工学部事務室ではいつでも相談に応じています。

Q6 現地でスマホは使えますか? Wifiはありますか?

A 留学先や宿舎ではWifiが使えることが多いですが、街中でもスマホが使えるとGoogle Mapなどが利用でき大変便利です。現地で使えるSIMカードが日本でもネットで購入できます。少し割高ですが海外用Wifiルーターを借りて行く方法もあります。

Q7 情報理工学部のプログラムは誰か引率者がいますか?

A 基本的に引率はありません（現地の空港出口でスタッフが待っています）。ただし、プログラムの期間中、本学教職員がみなさんの状況確認のため現地を視察することはあります。

Q8 留学の経費面と海外での健康管理面に不安がありますが、何かサポート体制があれば教えてください。

A 学部生は学内留学奨学金(チャレンジ奨学金)と学部独自の奨学金制度(先端ICT人材育成海外渡航費補助)があり、二本建ての経費支援が実現できます。
渡航前は全員海外旅行保険が加入しますので、万が一現地で病気にかかったら受診できる病院の案内サポートがあります。



遵守事項

1. プログラム参加手続の履行

- (1) プログラム申込金および実習費ならびにその他諸経費は、指定の期日までに納入すること。指定の期日までにプログラム申込金、実習費等の納入がない場合、プログラム参加を辞退するものとみなす場合があること。
- (2) プログラムの合格後は、立命館大学が正当と認める理由以外ではプログラム参加の辞退はできないことを十分に理解した上で申込手続を行うこと。
- (3) 立命館大学が辞退期限として指定している期日以降にプログラム参加を辞退する場合、立命館大学によりプログラム参加を取り消された場合、またはプログラムの開始前後にかかわらず立命館大学の責に帰さない事由によりやむを得ずプログラムを中止する場合には、立命館大学に納付したプログラム申込金、当該プログラムへの参加にあたり負担した費用、辞退・参加・取消・中止により発生する費用、当該プログラムに関わる派遣先大学・業者が定めるキャンセル料・追加料金について、学生本人または父母等が負担すること。また、当該支払に際して外貨から日本円への交換手数料が発生する場合は学生本人または父母等が負担すること。
- (4) 立命館大学が指定する海外旅行保険および危機管理支援サービス（以下「海外旅行保険等」と総称する。）に、留学に係る出発から帰国までの期間加入すること。また、派遣先大学から別途海外旅行保険等に加入することを指定された場合は、立命館大学および派遣先大学が指定するそれぞれの海外旅行保険等に加入すること。
- (5) 立命館大学が指定する往復の航空便、指定旅行代理店、指定査証代行取得業者、指定宿舎がある場合は、それらを利用することとし、指定の期日までに手続を行うこと。指定の期日までにビザ、パスポート等の取得ができない場合、プログラム参加を辞退すること。
- (6) 立命館大学が指定するガイダンスに出席し、指定の期日までに必要な書類を提出すること。
- (7) 立命館大学の定期健康診断を受診すること。何らかの事情で受診できていなかった場合は、指定の期日までに、別途健康診断を受診すること。
- (8) 医師がプログラムへの参加が困難であると判断した場合、その見解にもとづき、立命館大学がプログラム参加を認めないことがあること。
- (9) 派遣先大学または派遣先大学が所在する国・地域・自治体が指定する予防接種を、指定の期日までに受けること。
- (10) 既往症、現在疾患、服薬の状況等について、指定の期日までに立命館大学に申告すること。また、申告内容に変更があった場合は、速やかに再度申告すること。

2. プログラムに関する諸条件

- (1) プログラム派遣候補者として選抜されることは、派遣先大学での受入を保証するものではないこと。また、派遣先大学の事情によっては、受入が許可されない場合もあること。
- (2) 本邦外務省による海外安全情報にもとづき、派遣先国・地域または都市に対して危険情報および感染症危険情報レベル2以上が発令された場合、立命館大学は派遣者の生命・身体を安全を最優先し、原則、派遣の中止を判断する。派遣中止が判断された時点ですでに留学を開始している者は、本邦外務省や在外公館の勧告・命令および立命館大学の指示に従い、安全を確保したうえで速やかに日本に帰国すること。
また、危険情報または感染症危険情報レベル1以上が発令されている（例外としてプログラムが実施または継続する場合も含む。）、もしくは発令がされていない場合でも、派遣者の安全確保または学習の継続が保証できないと立命館大学が判断した場合は、派遣の中止および早期の帰国を命ずることがある。
- (3) プログラム参加中、緊急に医療手当てまたは手術の必要が生じた場合、学生本人および父母等の個別同意がなくとも、立命館大学または派遣先大学の担当者によって処置されることがあること。
- (4) 医師による診断にもとづき、プログラムの継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (5) プログラムが定める教育上の目的が達成できず、留学プログラム参加の継続が困難であると立命館大学が判断した場合、立命館大学の帰国措置の指示に速やかに従うこと。
- (6) 帰国措置を受けたとき、または自己都合によりプログラムを中止したとき、これに伴って発生する帰国費用等は学生本人または父母等が負担すること。
- (7) プログラム参加にあたり立命館大学から奨学金の給付を受けていた場合、当該奨学金の規程にもとづき、プログラム参加を中止する等の理由により、奨学金の全部または一部の返還を求められることがあること。
- (8) プログラム参加に伴う渡航期間が、立命館大学における講義・補講、定期試験、追試験等と重なった場合、特別な配慮は行われないこと。
- (9) ホームステイでは、1家庭に複数名の学生が滞在する場合があること。寮・ホテルでは、1部屋に複数名の学生が滞在することが基本となること。

(10) プログラム参加にあたり、滞在先、航空券等の諸手続、手配等を自身で行わなければならない。プログラムについては、事前に諸手続、手配等について十分確認し、必ず自身の責任において遅滞なく行うこと。

3. 個人情報取扱いに関する同意

- (1) 立命館大学に届け出た個人情報について、立命館大学が、派遣先大学、事務業務受託会社、旅行会社、査証代行取得会社、保険会社、保険代理店、危機管理支援サービスを提供する会社、海外用携帯電話レンタルサービスを提供する会社、航空会社、関係省庁および在外公館に提供し、プログラム運営や緊急時の対応のために利用することに同意すること。
- (2) 立命館大学が、プログラム運営のために、派遣先大学等から成績情報、生活情報等の個人情報の提供を受けることや派遣先大学に成績情報・生活情報等の個人情報を提供することに同意すること。

4. プログラム参加の責任

- (1) プログラム参加中に発生したトラブルについては、基本的に学生本人の責任において対処すること。
- (2) 学生本人が被った人的・物的損害または自己が派遣先大学もしくは第三者に与えた人的・物的損害が、次の①～⑧のいずれかにあたる場合、学生本人または父母等の責任において対処し、立命館大学に損害賠償その他のいかなる責任も追及しないこと。
 - ① 自然災害、海難、火災、政府や公共団体の指令、戦争、暴動、ストライキ、盗難、隔離、テロリズム、ハイジャック、航空機事故、交通事故、犯罪、流行病、税関規則、航空機等の突然のスケジュール変更、その他の不可抗力により生じた損害
 - ② 立命館大学が管理しえない状況で起こった事件または事故により生じた損害
 - ③ 法令または公序良俗に反する学生本人の行為により生じた損害
 - ④ 学生本人の故意または過失により生じた損害
 - ⑤ プログラムの趣旨・目的から逸脱した学生本人の行為により生じた損害
 - ⑥ 学生本人の個人的問題から生じた損害
 - ⑦ 学生本人が行った滞在先、航空券等の諸手続、手配等により生じた損害
 - ⑧ 2(2)の派遣の中止により生じた損害

5. 規律事項

- (1) プログラムの目的と趣旨を理解し、学習および研究に専念すること。
- (2) プログラム期間中は、日本の法令および立命館大学の諸規則ならびに派遣先大学が所在する国・地域の法令および派遣先大学の諸規則を遵守すること。
- (3) 立命館大学および派遣先大学の教職員の指示に従うこと。
- (4) 麻薬、向精神薬等日本の法律または派遣先大学が所在する国・地域・自治体の法律により違法とされる薬物、危険ドラッグ、銃等の所持、使用、購入および日本への持ち込みはしないこと。
- (5) プログラム参加中に、自動車、オートバイ、船舶、航空機等の運転、操縦および購入を行わないこと。
- (6) パンジージャンプ、スカイダイビング、スキューバダイビング等危険な行為を行わないこと。
- (7) 健康管理は自らの責任で行い、常備薬や主治医の紹介状等を現地に持参すること。
- (8) プログラム参加中に、旅行または外泊する場合は、指定の期日までに所定の届出を立命館大学に行うこと。立命館大学または派遣先大学から計画の変更や中止の指示があった場合は、それに従うこと。
- (9) プログラム参加中は、立命館大学が指定する報告を遅滞なく行うこと。
- (10) プログラム終了後はすみやかに帰国すること。立命館大学の許可なく、個人的な理由により滞在期間を延長しないこと。
- (11) 渡航期間が3か月未満の短期プログラム参加者については、立命館大学の許可なく、日本または母国への一時帰国・再入国を行わないこと。
- (12) 派遣先大学の寮規程もしくは入居した寮の規則またはホームステイ先の規則に従い、生活すること。
- (13) 派遣先大学の授業の録音や録画、写真撮影などは、授業担当者の許可を得ること。
- (14) 派遣先国および地域で危機が発生し立命館大学が帰国を命じた場合は、命令および指示に従い安全を確保したうえで速やかに帰国すること。